



2024年6月28日

各 位

会 社 名 株式会社INFORICH

代表者名 代表取締役社長兼執行役員CEO 秋山 広宣

(東証グロース市場、コード：9338)

問合せ先 取締役兼執行役員CFO 橋本 祐樹

メール：ir@inforichjapan.com

投資家の皆さまからのご質問と当社見解（2024年6月）

日頃より当社へのご関心をいただきありがとうございます。

本開示は、投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、投資家様から頂戴した主なご質問とその回答について、毎月月末を目途に行っているものです。

回答内容については、時期のずれによって齟齬が生じる可能性があります。

※本開示には、6月末時点での情報を記載しております。

Q.1 第2四半期決算のスケジュールについて。

第2四半期の決算発表は、8月13日（火）を予定しております。

機関投資家・アナリスト向けの説明会は、当日13日の18:00~19:00に、オンライン・オフライン併用のハイブリッド形式で実施する予定です。詳細につきましては、後日、みんせつ上で公開するとともに、ご連絡先を頂戴している投資家・アナリストの皆様にご案内をお送りいたします。

個人投資家向けの説明会も実施予定です。こちらも決まり次第ご案内させていただきます。

なお、7月からはサイレント期間に該当いたします。第2四半期決算に関連する事項にはお答えしかねますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

Q.2 バッテリースタンドの設置基準はどのようなものか。

当社では、バッテリースタンドの設置に際して「設置プロトコル」を設定しています。

重要な指標としているものは以下のとおりです。

- 最寄り駅の乗降客数（駅のない観光地付近の場合は、観光地からの距離）
- 最寄り駅からの距離（乗降客数をもとに、設置を推奨する周辺距離を設定）
- 営業時間（土日や夕方以降立ち入ることができるか）
- 階数や間口の広さなどのアクセスのしやすさ
- すでに設置している周辺のスタンドのレンタル・返却の状況

上記のような複合的な視点から、想定されるレンタル数を算出し、設置時の経済条件も鑑みながら設置可否と設置するスタンドのサイズを決定しています。



Q.3 バッテリースタンドの撤去基準はどのようなものか。

設置してからすぐは、まだその場所にバッテリースタンドがあることを認識していない方も多くいらっしゃいます。アプリ上にレンタル可能な場所（レンタル中は返却可能な場所）が表示されていますが、一部の方は「ここにはChargeSPOTがある」という経験値でレンタル場所を探しています。設置していることを認知されるまでには少々のタイムラグがあることから、一定期間経ってからでなくてはその場所のレンタルニーズを把握することはできません。

一定期間が経ってからは、レンタル数と返却数の双方を鑑みて撤去や移設の有無を確認します。返却する場所がなくてはレンタルもされないため、返却数が多い場所も重要なスポットです。

Q.4 為替の変動の影響はどのように受けるのか。

当社の主たる事業であるChargeSPOT事業の為替感応度は軽微となっております。

一方で、当社から香港小会社向けに行っている円建ての貸付が為替の影響を受けやすく、直近決算でも為替差益を計上しております。

今後も為替の変動を注視しながら、為替予約などを活用することで為替変動リスクの平準化をはかってまいります。

Q.5 Ezychargeの連結後は売上高や営業利益にどのような影響が出てくるのか。

Ezychargeの連結開始に向けて現在準備中であり、明確な数字はまだ開示できません。

Ezychargeの連結組入は、売上高にプラスの効果を与えます。直前年度に黒字化しておりますが、のれんの金額や償却期間が確定していないため、影響が判明次第開示致します。

直近のEzychargeの業績は以下のとおりです。

(2024年3月21日の株式取得時の開示から抜粋)

(9) 対象会社の経営成績及び財政状況 (単位：豪ドル)			
決算期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
純資産	946,476	-831,907	467,018
総資産	1,243,075	481,221	1,664,318
売上高	1,236,955	1,686,116	3,480,431
親会社株主に帰属する当期純利益	132,834	-1,000,900	827,011

※ 上記の対象会社の経営成績及び財政状況に記載の数値は、監査法人による監査を受けたものではありません。